

令和4年度

香芝市社会福祉大会

主催：かしばし社協 後援：香芝市

日時

令和5年 2月14日(火)

(開場13:00) 13:30開会～15:40閉会

会場

香芝市ふたかみ文化センター
市民ホール (香芝市藤山1-17-17)

手話通訳
要約筆記
あります

第1部 式典

13:30～14:10

- 社会福祉功労者表彰式
- 大会宣言



©2019 kashibashishakyo

第2部 記念講演

14:20～15:20

『笑いで地域を元気に!』

講師 落語家

はやしや そめじ
林家 染二氏

略歴

龍谷大学卒。林家染丸師匠に入門し染吉を名乗る。1997年に三代目林家染二を襲名。2020年文化庁芸術祭大衆芸能部門大賞を受賞の他、数多くの賞を受賞。2012年からは複数大学での講義も出講されています。

[芸歴]

1984年9月 林家染二(現四代目染丸)に入門、芸名「染吉」
1985年7月 林家一門勉強会「林染会」にて初舞台
1997年10月 三代目林家染三を襲名

入場
無料

みとめあい、つながりあう「共生」のまちかしば

かしばし社協

<https://ka-shakyo.or.jp>



お問い合わせ

0745-76-7107

FAX:0745-76-7104 E-mail:info@ka-shakyo.or.jp

〒639-0251 奈良県香芝市逢坂一丁目374-1(香芝市総合福祉センター内)

林家染二さんのご紹介

林家染二さんは、1984年に四代目染丸(当時染二)に入門されました。1997年には三代目林家染二を襲名され、林家染丸一門の総領弟子として次代を担う立場におられます。

染二さんの落語は、滑稽噺・芝居噺・人情噺など幅広くパワフルな高座でありながら、そのどれもが人への優しさと温もりにあふれています。

1998年度文化庁芸術祭では新人賞を飛び越え、上方落語界において最短の芸歴で優秀賞を受賞され、2004年には上方落語界で初となる二度目の文化庁芸術祭優秀賞を受賞。2008年には第二回天満天神繁昌亭大賞を受賞し、繁昌亭定席のトリを勤められる実力派として、染二落語の時代の幕開けを印象付けられました。

さらに、2020年には文化庁芸術祭大衆芸能部門大賞を受賞されています。

その他、日航名人会海外公演では、19カ国30都市を巡演。2012年より落語家で初めての京都大学ゲスト講師として、全学部1・2回生共通講義「宇宙総合学」に年一回登壇されておられます。また、龍谷大学・大阪電気通信大学・京都造形芸術大学などにも出講されたことがあり、大学教育や各種社会問題をテーマとした講演など幅広く活躍されています。



somejirakugo.com

公式ホームページより
抜粋してご紹介
させていただきました。



受賞歴

- 1993年
NHK新人演芸大賞 優秀賞
- 1996年
大阪文化祭賞 奨励賞
- 1998年
第53回文化庁芸術祭演芸部門 優秀賞
- 2004年
第33回上方お笑い大賞 最優秀技能賞
- 同年
第59回文化庁芸術祭演芸部門 優秀賞
- 2005年
大阪文化祭賞
- 2008年
第2回天満天神繁昌亭大賞
- 2020年
第75回文化庁芸術祭大衆芸能部門大賞

林家染二さんの直近の公演

上方林家 染二爛漫 lot.27

☆新春1月の「染二爛漫」は、落語とマジックで賑やかに開催！染二は約5年ぶりに師匠染丸の十八番「天一・浮かれの屑より」を演じます。太鼓持ち・歌舞伎の立役・女形を踊り分けます。体力も踊りの素養も必要です。もう一席は「お楽しみ」。

勢揃い!卯年落語顔見世

☆トップランナー・次代の星・期待の若手が、池田で一堂に集結!染二プロデュースで、自信を持ってお届けする番組です。染二は冬の爆笑噺二代目林家菊丸作のお家芸「不動坊」です。二代目三代目染丸が卯年生まれで林家の家紋が「ぬの字うさぎ」。波乗りうさぎで染二が躍動します!

【日時】2023年1月22日(日) 18:00開演
【出演】林家染二/ビックリツカサ/林家染吉/桂二豆
【会場】天満天神繁昌亭
【料金】前売・当日3000円(全席指定)

【日時】2023年1月28日(土) 17:00開演
【出演】林家染二/笑福亭松喬/桂文三/桂雀太/露の紫
【会場】池田市民文化会館小ホール
【料金】前売・当日3500円(全席指定)

【お問い合わせ】(株)SOMEJI 06-7850-8848